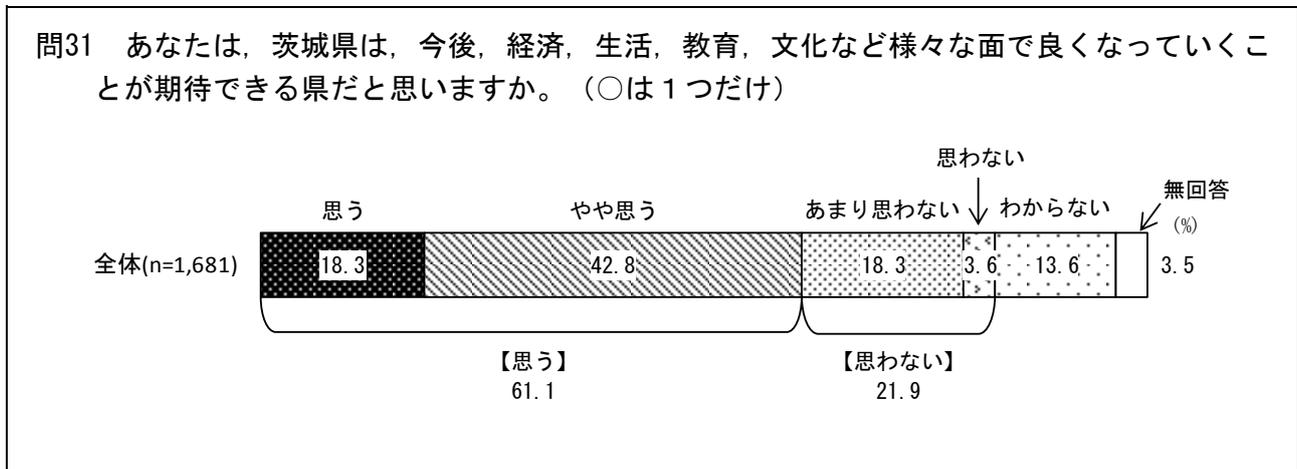


Ⅸ 茨城県に対する成長期待

1. 茨城県の成長期待度

－【思う】が6割超－



茨城県の成長期待度について、「思う」（18.3%）と「やや思う」（42.8%）を合わせた【思う】（61.1%）が6割を超えている。一方、「あまり思わない」（18.3%）と「思わない」（3.6%）を合わせた【思わない】（21.9%）は2割を超えている。また、「わからない」（13.6%）が1割台半ばとなっている。

－男性の70歳以上、女性の65～69歳で【思う】が6割台後半－

性・年齢別でみると、【思う】は、男性の70歳以上（66.9%）、女性の65～69歳（68.5%）で6割台後半と高くなっている。

－男性の30代で【思わない】が3割台半ば－

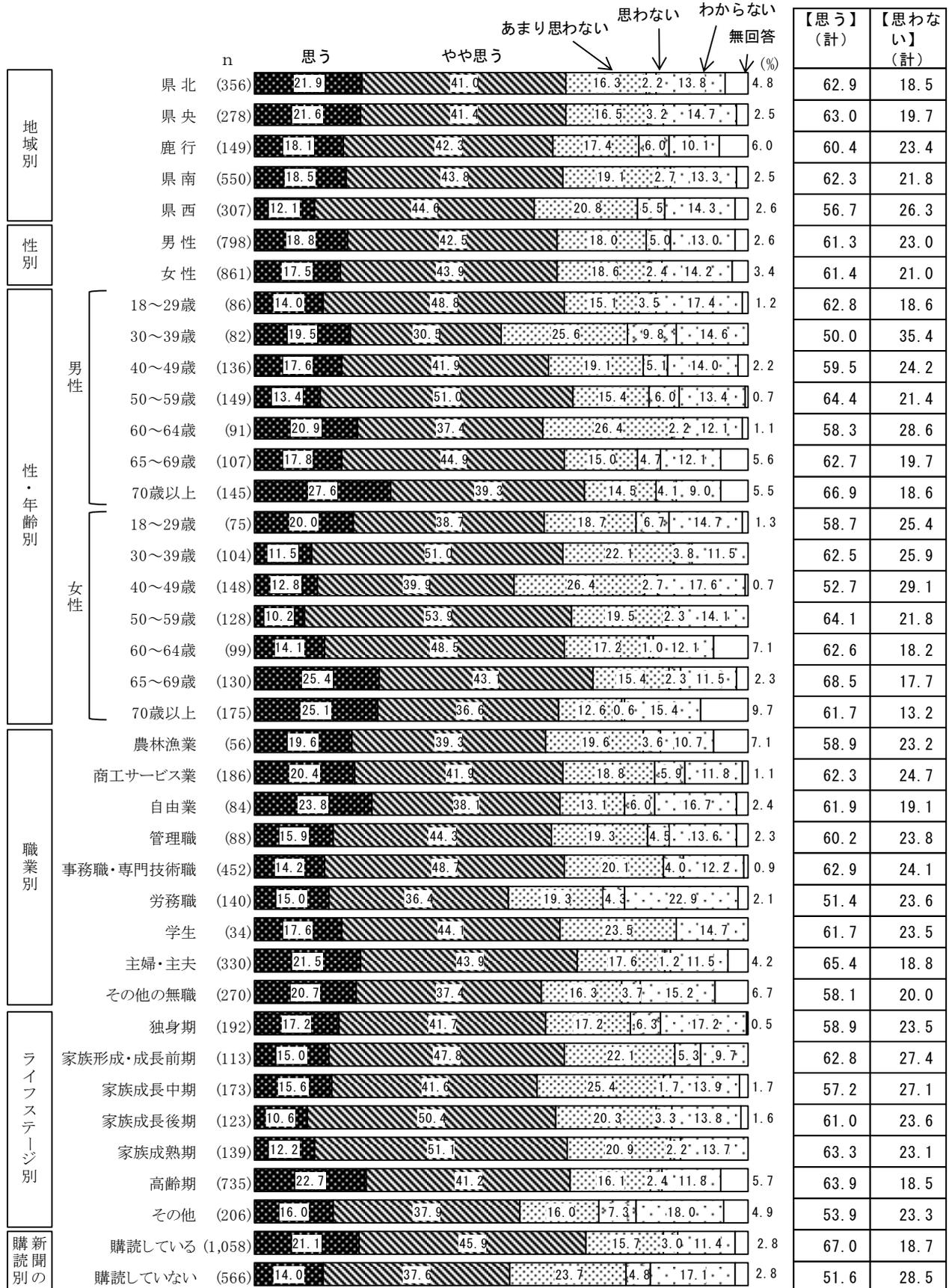
性・年齢別でみると、【思わない】は、男性の30代（35.4%）で3割台半ばと最も高くなっている。

－新聞購読者で【思う】が新聞未購読者よりも約15ポイント高い－

新聞購読の有無でみると、【思う】は、購読者（67.0%）が未購読者（51.6%）よりも約15ポイント高くなっている。

図区 31-1 茨城県の成長期待度

(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 新聞の購読別)

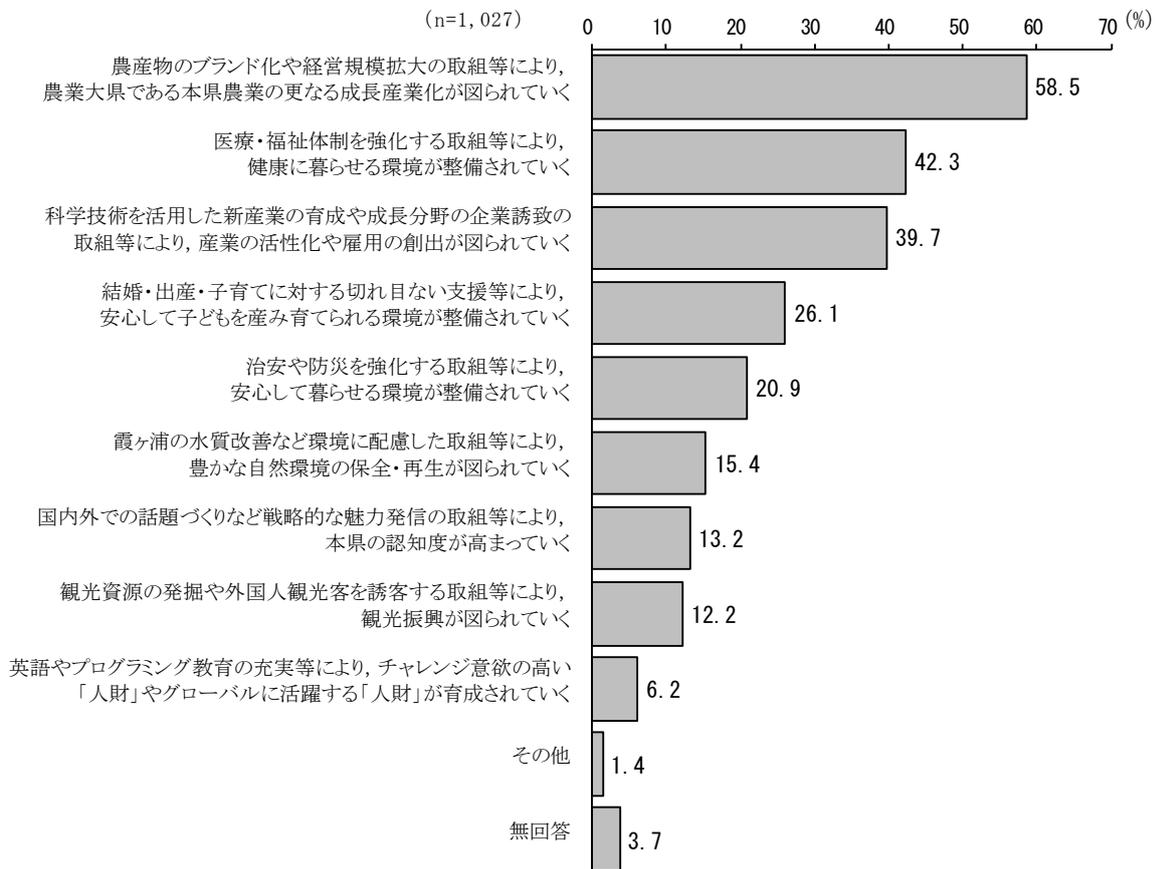


2. 茨城県に今後期待できること

－「農産物のブランド化や経営規模拡大の取組等により、農業大県である本県農業の更なる成長産業化が図られていく」が約6割－

(問31で「1. 思う」「2. やや思う」と回答した方へ)

問31-1 今後、県民の方々の夢・希望の実現に向けて、茨城県に期待できると思う項目をお選びください。(○は3つまで)



茨城県に今後期待できることとしては、「農産物のブランド化や経営規模拡大の取組等により、農業大県である本県農業の更なる成長産業化が図られていく」(58.5%)が約6割と最も高く、次いで、「医療・福祉体制を強化する取組等により、健康に暮らせる環境が整備されていく」(42.3%)が4割を超え、「科学技術を活用した新産業の育成や成長分野の企業誘致の取組等により、産業の活性化や雇用の創出が図られていく」(39.7%)が約4割で続いている。一方、「英語やプログラミング教育の充実等により、チャレンジ意欲の高い「人財」やグローバルに活躍する「人財」が育成されていく」(6.2%)が1割を切っており最も低くなっている。

－鹿行で「農産物のブランド化や経営規模拡大の取組等により、農業大県である本県農業の更なる成長産業化が図られていく」が約7割－

地域別でみると、「農産物のブランド化や経営規模拡大の取組等により、農業大県である本県農業の更なる成長産業化が図られていく」は、鹿行(67.8%)で約7割と最も高くなっている。

— 県北・県南で「科学技術を活用した新産業の育成や成長分野の企業誘致の取組等により、産業の活性化や雇用の創出が図られていく」が4割台半ば—

地域別でみると、「科学技術を活用した新産業の育成や成長分野の企業誘致の取組等により、産業の活性化や雇用の創出が図られていく」は、県北（43.8%）と県南（43.1%）で4割台半ばと高くなっている。

— 男性の50代、女性の60～64歳で「農産物のブランド化や経営規模拡大の取組等により、農業大県である本県農業の更なる成長産業化が図られていく」が約7割—

性・年齢別でみると、「農産物のブランド化や経営規模拡大の取組等により、農業大県である本県農業の更なる成長産業化が図られていく」は、男性の50代（70.8%）、女性の60～64歳（67.7%）で約7割と高くなっている。

— 男女の70歳以上で「医療・福祉体制を強化する取組等により、健康に暮らせる環境が整備されていく」が約6割—

性・年齢別でみると、「医療・福祉体制を強化する取組等により、健康に暮らせる環境が整備されていく」は、男性の70歳以上（58.8%）、女性の70歳以上（58.3%）で約6割と高くなっている。

— 男性の50代で「科学技術を活用した新産業の育成や成長分野の企業誘致の取組等により、産業の活性化や雇用の創出が図られていく」が約5割—

性・年齢別でみると、「科学技術を活用した新産業の育成や成長分野の企業誘致の取組等により、産業の活性化や雇用の創出が図られていく」は、男性の50代（49.0%）で約5割と最も高くなっている。

— 男性の30代で「結婚・出産・子育てに対する切れ目ない支援等により、安心して子どもを産み育てられる環境が整備されていく」が5割超—

性・年齢別でみると、「結婚・出産・子育てに対する切れ目ない支援等により、安心して子どもを産み育てられる環境が整備されていく」は、男性の30代（51.2%）で5割を超えて最も高く、次いで、女性の30代（44.6%）で4割台半ばと高くなっている。

— 家族形成・成長前期で「結婚・出産・子育てに対する切れ目ない支援等により、安心して子どもを産み育てられる環境が整備されていく」が5割台半ば—

ライフステージ別でみると、「結婚・出産・子育てに対する切れ目ない支援等により、安心して子どもを産み育てられる環境が整備されていく」は、家族形成・成長前期（53.5%）で5割台半ばと最も高くなっている。

図区 31-1-1 茨城県に今後期待できること
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別—上位7項目)

農産物のブランド化や経営規模拡大の取組等により、農業大県である本県農業の更なる成長産業化が図られていく

医療・福祉体制を強化する取組等により、健康に暮らせる環境が整備されていく

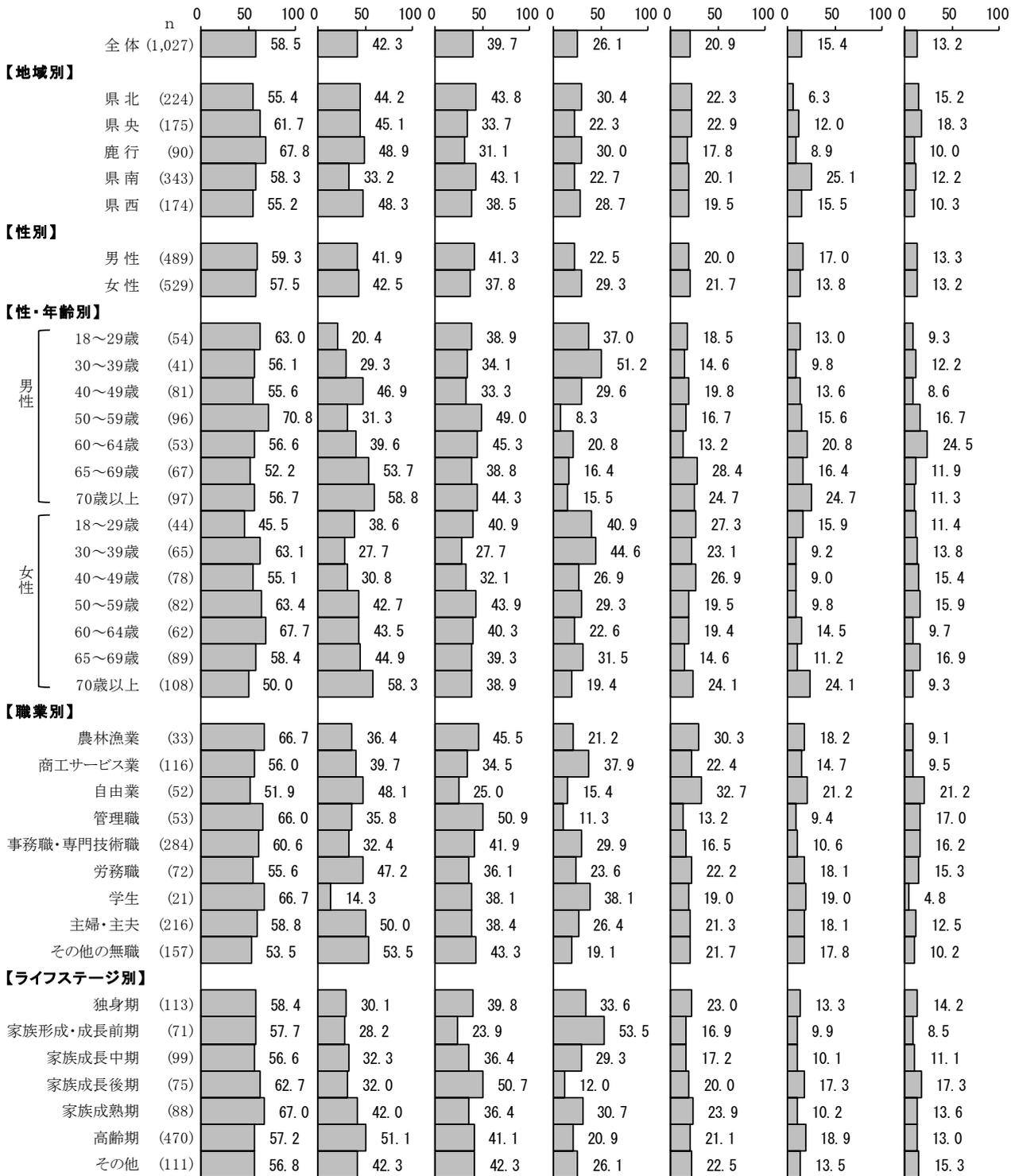
科学技術を活用した新産業の育成や成長分野の企業誘致の取組等により、産業の活性化や雇用の創出が図られていく

結婚・出産・子育てに対する切れ目ない支援等により、安心して子どもを産み育てられる環境が整備されていく

治安や防災を強化する取組等により、安心して暮らせる環境が整備されていく

霞ヶ浦の水質改善など環境に配慮した取組等により、豊かな自然環境の保全・再生が図られていく

国内外での話題づくりなど戦略的な魅力発信の取組等により、本県の認知度が高まっていく



3. 茨城県に期待できない理由（自由記載の集計と一部抜粋）

－「県政の情報・魅力が十分に伝わっていない」が最も多い－

（問31で「3. あまり思わない」「4. 思わない」と回答した方へ）

問31－2 期待できないと思う理由は何ですか。自由にご記入ください。

順位	項目	件数
第1位	県政の情報・魅力が十分に伝わっていない	52
第2位	これまで特に成長したと感じるところがない／変わらない	43
第3位	人口減少・首都圏への人口流出・過疎化の進展	42
第4位	少子化・高齢化の進展(それらへの対策不足を含む)	28
第5位	今の政治・行政には期待しない	27
第6位	施策が効果的でない・税金が有効活用されていない	23
第7位	本県の魅力が少ない	20
第8位	県内の地域間格差が大きい	18
第9位	インフラの整備が進んでいない(公共交通の便が悪いなど)	14
第10位	茨城県民の気質のため	13
第11位	企業活動等が活性化していない	12
第12位	雇用環境が良くない	10
第13位	教育を取り巻く環境が脆弱	7
"	原発や自然災害に対する不安	7
第15位	治安に対する不安	6
第16位	県政運営に必要な資金不足	5
第17位	医療機関が少ない／医者が少ない	3
"	わからない・なんとなく	8
"	その他	9

※一人の回答が複数の内容に渡る場合には、それぞれの項目へ分類。

茨城県に期待できない理由（自由記載）としては、「県政の情報・魅力が十分に伝わっていない」が最も多く、次いで、「これまで特に成長したと感じるところがない／変わらない」「人口減少・首都圏への人口流出・過疎化の進展」が上位に挙げられている。

「県政の情報・魅力が十分に伝わっていない」 (52件)

[記載内容の抜粋]

- せっかく農産物など良い物が沢山あるのにPRが少ない気がする。東京に近く、良い所も沢山あるのにあまり知られてない気がする。最近少しずつTVで見かけるようにはなったが…。(女性, 65～69歳)
- せっかく筑波大学などの研究機関があるのに、県とは上手く連携できていないと感じる。今後の方針があまり見えない。興味がある人には情報提供できているのだろうが、情報を知らない人が多い気がする。制度があっても使われないと意味がない。(男性, 18～29歳)
- 経済・生活・教育に対するプランが漠然としており、活動内容が見えてこない。又、茨城県の他県に対するアピール力が不足している。(女性, 30～39歳)
- 魅力的なものも、他県に比べてアピール出来ていない。何に期待をしたら良いのかまったくわからない(伝わってこない)。(女性, 40～49歳)
- 計画や活躍を肌で感じられないため。特に問題もないため、無難に県政を実施しているものと思われるから。(男性, 30～39歳)

「これまで特に成長したと感ずるところがない／変わらない」 (43件)

[記載内容の抜粋]

- 何も変わっていないから、良くなっている感じがしない。(男性, 30～39歳)
- 今まで変わらなかったから、これから急に何か変わるかは期待出来ない(良くなってほしいと当然思っているけど)。(男性, 65～69歳)
- 子育てをして4年、下の子が生まれて1年ですが、4年前と何も変わっていない気がする。(女性, 18～29歳)
- 私は他県から茨城県に来て60年になるが、あまり昔と変わった感じがしない。観光といっても他県から比べるとこれといって何もないし、他県から来てただ通過するだけの県だと思う。魅力度47位の県だと思う。(男性, 65～69歳)

「人口減少・首都圏への人口流出・過疎化の進展」 (42件)

[記載内容の抜粋]

- 人口が少ない、若い人が少ない、高齢化のため。(女性, 18～29歳)
- 人口減少、商店街の閉鎖が多く見られる。(男性, 50～59歳)
- 県北地域は、過疎化が進み過ぎている。(男性, 70歳以上)
- 日本全体が人口減少していく中で、成長していこうという考え方に無理がある。いかにみんなで上手に規模縮小していくか。倒産や自殺をなるべく出さずに軟着陸していくかという考え方が必要。(女性, 40～49歳)

「少子化・高齢化の進展(それらへの対策不足を含む)」 (28件)

[記載内容の抜粋]

- 人口が増えているつくば市において、保育所がたりなすぎる。若い人への対応がなっていない。住みやすくない！(女性, 60～64歳)
- 市町村により子育て支援の差があり、今後の子育てに不安がある(特に水戸市)。(女性, 30～39歳)
- 城里町では、子どもが減っていると耳にしたりします。自然がたくさんあり、人も温かい町であると思います。しかし、高齢者が増えており、米も作る人がへっているとも聞きます。自然に恵まれ、野菜や米といったものがたくさん作れるのに、活用せず放置されているところを見ると、残念と感じる。少しでも活用すればもう少し茨城も活性化されると感じます。(男性, 40～49歳)
- 高齢化社会に益々なるので、経済的にも良くなるとは思えません。私の世代は、先人のつげが回ってくる世代なので…。自分は子どもがいますが、産んでいない人もいますし、もっと若い人が苦勞すると思います。(女性, 40～49歳)